

新型コロナワクチンについて 皆さんに知ってほしいこと



令和3年2月19日に国が公表した資料に基づき、ワクチンに関する情報を、正確に、分かりやすく紹介します。

新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱や咳などの症状が出ること（発症）を防ぐ効果が認められています。

新型コロナワクチンは、あなた自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

多くの方が接種することで、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。

どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障がいが残ったりするほどの副反応は、極めてまれではあるものの、ゼロではありません。（予防接種による健康被害は救済制度の対象です。）

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。

新型コロナワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人に、ワクチン接種後の症状などの調査を予定しています。このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。

ワクチンについて、正しく知ったうえで、判断しましょう。

新型コロナワクチンを承認し、接種を勧めるに当たって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果など、ワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。

厚生労働省 新型コロナワクチン コールセンター

☎ 0120-761770 ※受付時間は9時～21時(土・日曜日、祝日も可)

宮崎県新型コロナワクチン副反応等コールセンター

☎ 0985-26-4609 FAX0985-26-1000 ※受付時間は9時～18時(土・日曜日、祝日も可)